

令和5年度 学校経営方針

中野区立鷺宮小学校長  
高橋 俊之

＜本校の教育目標＞

- 愛 知恵と命を愛する人
- 誠 誠実さと真心を大切にする人
- 剛健 心と体をきたえる人

互いの人格を尊重し、真理と正義を求め、公共の精神を尊び、豊かな人間性と創造性を備えた児童の育成をめざす。

＜本校の目指す学校像＞

- 児童が喜んで登校し満足して下校できる学校
- 教職員が指導に喜びのもてる学校
- 保護者・地域の方々・同窓生が誇りに思う学校

学校経営の基本方針

- 子ども一人ひとりの自尊感情（自己有用感・自己肯定感など）を高める
- 教育活動実施の判断基準は、子どもの成長にとって必要か否か
- 子どもにウソをつかない教育活動を行う
  - ・教職員が教育目標の達成に向けて、個々のよさを発揮できる環境を創る
  - ・校務分掌以外にも、連携協力して指導にあたる
  - ・個々の指導力の向上に向けて、教職員間で切磋琢磨する
  - ・子どもの前に立つときは元気に笑顔で！
- 統合に向けてこれまでの教育活動を見直し、今日的な教育を創り出す一年に

【めざす子ども像】

- 自分がやりたいことがある
- 自分が得意なこと、誰にも負けないことがある
- 夢中になって時間を忘れることがある
- 先生や大人の言うことにおかしい？と思うことがある
- 先生や友達が言ったやり方と違う方法でやりたいと思う

【めざす教師像】

- 「みつめる目 感じる心 教える技 創り出す喜び」
- どの子もかわいく思える
- とりあえず子どもの話を聞く
- 子どもととことん付き合う
- 子ども一人一人のよさが言える
- 時には自分に食ってかかってほしい
- 理不尽な意見でも子どもの声を聞く心の余裕がある
- 自分の教育に信念がある 育てたい子ども像がある
- 子どもの前に立つ時は元気で笑顔でいる

## 鷺宮小学校として過ごす一年を充実させる

- ①明治13年(1880年)の開校 143周年
  - ・鷺宮小学校閉校の一年として、記憶に残る一年にする
- ②明るい学校
  - ・すべての児童・教職員が健康で元気に過ごすことができる学校づくり
  - ・「爽やかな挨拶」「笑顔」「子ども・保護者の声を聞く・受けとめる心」
  - ・いじめの未然防止・早期発見に努め、確認した時は早期対応、組織対応する
- ③主体的に学ぶ子どもを育てる
  - ・児童の学ぶ意欲を大切に授業を行う
  - ・あたりまえのことを、あたりまえに行う子どもを育てる
- ④共感的な理解、受容する心をもって子どもと接する
  - ・子どもの話を受け止め、子どもにわかる言葉で話す。
  - ・人として許してはいけないことには毅然とした態度で指導する。
  - ・子どもが納得するトラブルの解消を図り、信頼関係を築く。
- ⑤明和中学校区コミュニティスクールを充実させる
  - ・明和中学校と中学校区の4つの小学校で連携を図る
  - ・学習習慣を定着させ、自尊感情を育てて進学させる
  - ・自分と違う価値観を認め、やさしい心を育てる

### めざす学校像

児童が  
喜んで登校し、満足して下校できる学校  
教職員が  
指導に喜びのもてる学校  
保護者・地域の方々・同窓生が  
自分たちの学校として誇りに思う学校

### 家庭との連携

- ①心の安定
  - ・学校での話を受け止める
  - ・自分のことを理解してくれる、見ていてくれる家族
- ③しつけの土台づくり
  - ・生活習慣の定着  
早寝、早起き、朝ごはん  
あいさつ・返事・おもいやり
- ③家庭のルール作り
  - ・SNS 家庭ルール
- ④家庭での学習
  - ・家庭学習の取組
  - ・休日の親子の触れ合い

### 地域との交流

- ①教育活動の支援
  - ・鷺寺、夏寺の実施
  - ・お話のいす 読み聞かせ
  - ・しらさぎ音読の会 詩の暗唱
- ②地域での安全
  - ・登下校時の引率、見守り
- ③教育活動の充実
  - ・保幼小連携、小中連携
  - ・外部講師による授業  
(水道キャラバン・薬物乱用防止  
など)

## (仮称) 鷺の杜小学校開校に向けた取組

- ①西中野小学校児童との交流活動を学年ごとに行います
  - ・令和4年度に引き続き実施します。
- ②西中野小学校の教育計画についての情報交換を行います
  - ・両校の教育活動を理解する。
- ③(仮称) 鷺の杜小学校の教育課程の編成を進めます
  - ・両校の伝統を考慮した上で、今日的な課題にふさわしい教育課程を編成する。
  - ・通学路の指定をPTAの意見を聞き、安全な登下校ができるようにする。
  - ・両校の教員が児童の実態を話し合い、学級編成を行う。
- ④(仮称) 鷺の杜小学校への備品・消耗品の移動・購入計画を立てます
  - ・新校で購入する物品に加えて、両校から移動する物品の計画を立てる。
- ⑤教育委員会担当者との連携します
  - ・令和6年度に通学する学校の確認をする。
  - ・児童への支給品の確認をする。

## 校内で任用されている職員の職務内容

- ①【特別支援教室専門員】(東京都)
  - ・特別支援教室で指導を受ける際の在籍学級との時間割の調整、行動観察及び指導記録の作成と報告、巡回指導の様子や在籍学級における配慮事項などの学級担任への伝達等を行う。
- ②【スクールカウンセラー】(東京都)
  - ・児童へのカウンセリング、カウンセリング等に関する教職員及び保護者に対する助言及び援助等を行う。
- ③【心の教室相談員】(中野区)
  - ・児童の話し相手、教育活動の支援を行う。
- ④【任期付短時間勤務教員】(中野区)
  - ・学力の定着、向上を目的に、ティームティーチングや教科指導を行う。本校では担当教員の専門性を生かして、理科を重点に授業を行う。
- ⑤【支援員】(中野区)
  - ・個別支援が必要な児童について学習時や校内移動の補助、集団行動時の安全確保を行う。ほかに、集団行動時の安全確保や教室にいられない児童の安全確保や居場所の確認を行う支援員がいる。
- ⑥【エデュケーション・アシスタント】(東京都・中野区)
  - ・学年、学級の経営上必要な業務全般の補助、学習、生活指導の補助を行う。
- ⑦【スクールサポートスタッフ】(中野区)
  - ・学習プリント等の印刷及び配布準備、教材作成・採点補助などを中心に行う。
- ⑧【図書館指導員】(中野区) 委託事業者 (株) 光管財
  - ・司書教諭と連携し、学校からの指示のもとで、図書室の整備、読書活動を行う。
- ⑨【ALT】(中野区) 委託事業者 (株) インタラック
  - ・外国語、外国語活動の授業で、担任とともに指導にあたる。

## お知らせ

### ①児童数・学級数について

新1年生54人を迎え、通常学級12学級338人で新年度をスタートしました。

### ②専科の指導学年について

音楽 後藤主任教諭 3～6年担当  
図工 松本主幹教諭 3～6年担当 松宮講師 1・2年担当  
算数少人数指導 塩澤講師 3～6年担当  
理科 金指区任短教員 理科 3～6年70時間をティームティーチングで担当

### ③特別支援教育の推進

特別支援教室巡回指導拠点校となっています。本校では、特別支援教室を「はなみずき学級」とよび、個別指導・小集団指導を行っています。はなみずき学級の教員の専門性を生かして、一人ひとりの子どもへの指導を充実させます。

### ④食育指導、給食アレルギー対応の充実

- ・中野区食物アレルギーへの対応を区の制度に従って行っています。対応は医師の診断書をもとに行います。除去した食事を提供することを行いますが、対応する食材や食数の関係で代替（お弁当など）をお願いすることもあります。
- ・給食では、旬の食材を使った献立や季節行事、学校行事に合わせた献立を作成します。

### ⑤特色ある教育活動

- ・音読活動は、「しらさぎ音読の会」に協力をいただき、詩の暗誦を行います。音読活動の成果を、音読発表会という形で実施します。
- ・読み聞かせは、「お話のいす（読み聞かせの会）」に協力をいただいて行います。
- ・鷲寺（放課後学習教室）、夏寺（夏季休業学習教室）を地域の皆様の協力もいただいて行います。

### ⑥その他

- ・キッズ携帯・GPS携帯等の持参について保護者の自己責任で認めています。学校内で取り出さないことを徹底してください。連絡帳で担任にお伝えください。
- ・学校情報配信メール「スマまち」を通じて緊急連絡や学校情報を配信します。運動会や校外学習の実施の可否や学級閉鎖の情報などを配信します。
- ・学校への欠席連絡、新型コロナウイルス感染症による欠席連絡は、Google フォームで行っています。
- ・スクールカウンセラーは金曜日に勤務しています。5年生は全員面接を実施します。
- ・子どもが一生懸命に活動する中で、けがをしたり、洋服が汚れたり、物が壊れたりすることがあります。ご理解をいただきたくお願いします。
- ・子ども同士のトラブルで、いじめや人権にかかわること・重大なケガ・故意による物の破損は、関係した保護者に学校から事実をお伝えし、改善を図ります。

# コミュニケーション能力を高める

## 教職員のコミュニケーション

### ①児童とのコミュニケーション

- ・子ども好きであることを子どもに感じさせることができる
- ・子どもの変化を見過ごさない
- ・子どもとの会話を楽しむことができる、一緒に遊ぶことができる

### ②授業でのコミュニケーション

- ・子どもの発言の機会をつくる
- ・子どもの発言を共感的に受け止める、間違いを受け止められる雰囲気を作る
- ・学習に効果的なペア学習、グループ学習を行う

### ③保護者とのコミュニケーション

- ・来校時のあいさつの徹底
- ・自分の教育観、指導感を具体的に伝える
- ・事実を把握し、正確に伝える
- ・子どもの長所を積極的に伝え、保護者とよりよい成長を考える
- ・保護者と協力して活動ができる

### ④教職員間のコミュニケーション

- ・社会人としての常識、良識を身につけている
- ・あいさつができる、感謝の気持ちを忘れずにお礼の言葉を言える
- ・協力、共同して子どもの成長を図る
- ・互いに助け合ってよりよい教育活動を創造できる

### ⑤地域とのコミュニケーション

#### ○見守ってくださる人と

- ・通学路でのあいさつ
- ・地域行事でのあいさつ

#### ○地域行事への参加

- ・学校と異なる子どもの姿に触れる
- ・主催してくださる人への感謝の気持ちを表す

全校朝会で「あいさつ」の話をしました。私自身が、少年野球のコーチから、リトルシニアのお父さん審判、高校野球の父母の会と続けた中で得た話を年度当初に子どもたちに行っています。グラウンドに来る大人の方は、私たちの野球を支えてくださる人々です。だからこそ感謝の気持ちであいさつをしっかりしようというものです。

「グラウンド」を「学校」に置き換えても、納得の内容です。最初の全校朝会で話をしています。